

# いのちの言の葉2014

富山県教育委員会平成26年度いのちの教育総合支援事業

## 「ヒロシマのこと」

富山市立奥田中学校2学年  
平成27年2月18日実施

## 【いのちの先生】

橋本 哲先生

・富山子どもの文化を育てる会会長

広島のことを「ヒロシマ」とわざわざカタカナで書いていた理由を聞いたので良かったです。私は一年前に原爆ドームに短い時間でしたが、行ってきました。本当に写真で見たみたいにひどい状況でした。また、原子爆弾が落とされたときの人の写真も見ましたが、私が想像していた以上にひどかったと思いました。今日の講演を橋本先生の講演を聴いて、私は平和な時代を生きているんだと実感しました。最近よく殺人のことなどニュースに出ますが、人を殺すなど、死にたくて死んだわけではない広島や長崎の人たちなどに失礼だと思います。私も命を大切にしていきたいです。



原爆は日本に落ちて、広島と長崎が被害を受けていたのは知っていたけど、富山も原爆と関わっていたことを知りびっくりしました。しかも今住んでいる奥田校下や近くの環水公園、普段通っている場所も関わり合って、原爆の練習が富山で行われていたなんて、とても驚きました。また、広島や長崎の被害はとてつもなくひどいと思いました。熱線や爆風、放射能などで逃げたくても逃げられない状態だったんだと思います。今、こうして原爆ドームや当時の写真がそのまま残っているのは、今の私たちは、平和や命の大切さを学ばなければいけないと思いました。修学旅行ではそういうことも学びたいです。

橋本先生の話聞いて、何も知らなかったと思いました。原爆やその後遺症のせいで亡くなった方もたくさんいたし、その当時の悲惨な状況も写真をみてよくわかりました。また、原爆で約20万人の人が亡くなったけど、日本も他国の人をその何倍も殺していたことを知りました。日本は、原爆を落とされた唯一の国だけど、ただの被害者ではなかったのだと思いました。本当の「平和」とはどういうことなのかを考えるためにも、原爆や戦争について日本人として知っておかなければいけないと思います。戦争で亡くなった方たちのためにも平和学習をしっかりと行い、今生きていること、いのちの大切さを学んで、過ごしていきたいです。

